

平成21年3月25日
国土交通省
富士砂防事務所

報道機関各位

お 知 ら せ

富士山で発生するスラッシュ雪崩が流下するおそれのある沢について

1. 概 要

富士山で積雪があり急激な気温の上昇やまとまった雨が降った場合にスラッシュ雪崩が発生する可能性が高くなります。スラッシュ雪崩が発生した場合、山林や道路に被害が発生する事もあり、また過去には、下流市街地に土石流となり流れ込み被害が発生した事例もあることから、溪流に近づかないなどの注意が必要です。

富士砂防事務所では、平成19年3月25日に発生したスラッシュ雪崩による被害を契機にスラッシュ雪崩に関する調査を行ってきました

今回、スラッシュ雪崩が流下すると想定される沢について富士山全周を対象にまとめましたのでお知らせします。

・・・スラッシュ雪崩とは・・・

富士山周辺で発生するスラッシュ雪崩は、雪代（ゆきしろ）とも呼ばれ、大量の水を含んだ雪が流動する現象で、流下の途中で土砂を巻き込みながら土石流となり、また下流域への到達距離が非常に長くなることもあり、古くから恐れられています。平成19年3月25日にもスラッシュ雪崩が発生し、富士山スカイライン周辺では被害が発生しています

2. 結果

富士山全周での航空レーザー測定の成果から、スラッシュ雪崩が流下する危険性の高い沢について調査を行いました。その結果、過去にスラッシュ雪崩が発生した標高2,000m～2,500m付近で沢の形状を示している所は83あり、富士山全周でスラッシュ雪崩が流下する可能性があることがわかりました。（図—1）

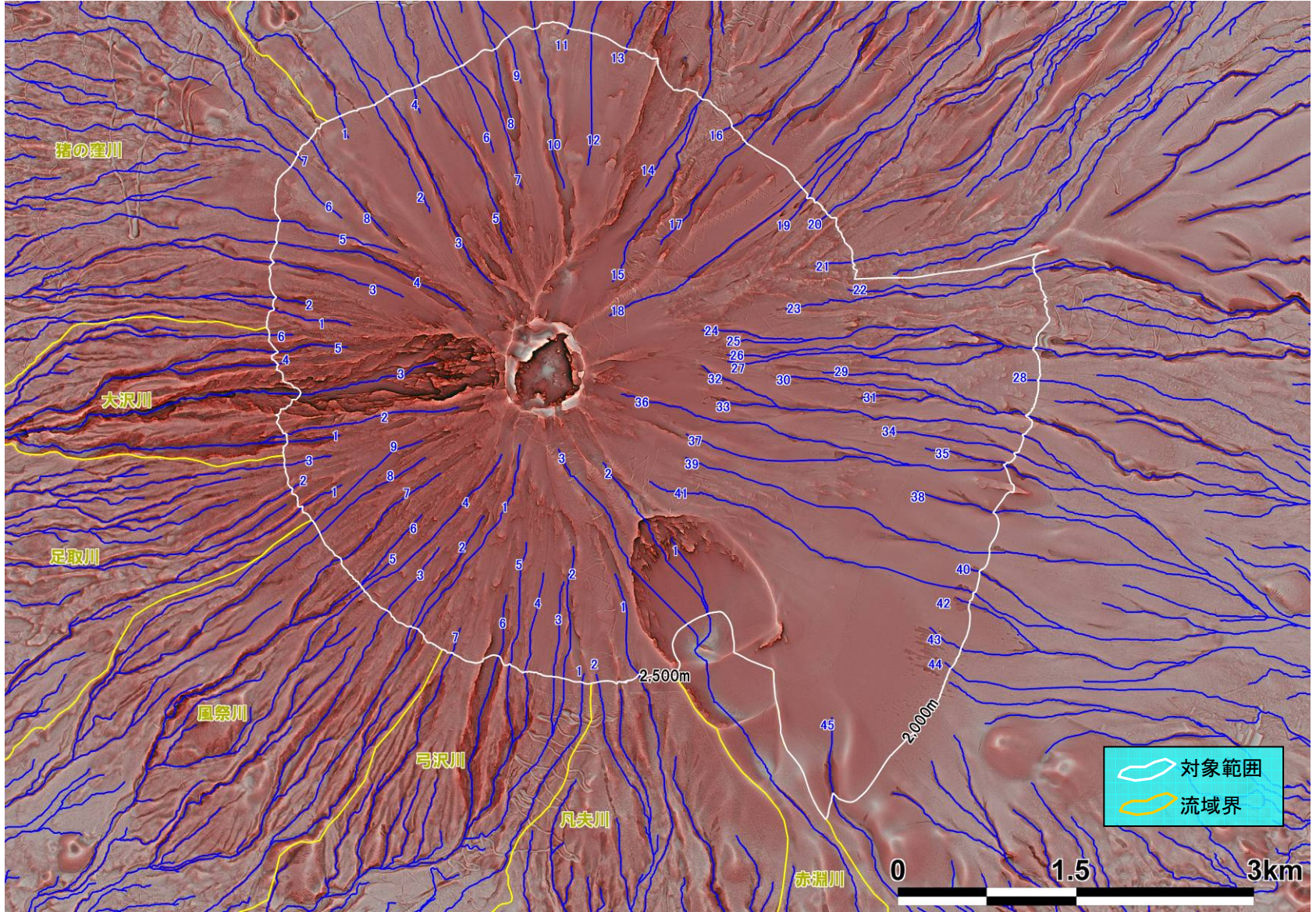
また「沢の名称」について文献などから調べた結果を表にまとめました。（表—1）

3. 配布先：富士市記者クラブ、富士宮市記者クラブ、富士吉田市記者クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省 富士砂防事務所 調査・品質確保課長 永井健二

電話：0544-27-5387（直通）



(図-1) スラッシュ雪崩の流下するおそれのある沢

(表-1) スラッシュ雪崩の流下するおそれのある沢名

流域名	番号	沢名
赤淵川	1	
	2	
	3	

流域名	番号	沢名
凡夫川	1	目沢
	2	

流域名	番号	沢名
弓沢川	1	
	2	
	3	
	4	
	5	市兵衛沢
	6	表大沢
	7	赤沢

流域名	番号	沢名
風祭川	1	青沢
	2	
	3	箱荒沢第二
	4	
	5	主杖流し
	6	
	7	鬼ヶ沢
	8	
	9	鞍骨沢

流域名	番号	沢名
足取川	1	桜沢
	2	角木沢
	3	

流域名	番号	沢名
大沢川	1	不動沢
	2	
	3	大沢川
	4	
	5	前沢
	6	

流域名	番号	沢名
猪の窪川	1	一番沢
	2	二番沢
	3	仏石流し
	4	滑沢
	5	水沢
	6	栗ノ木沢
	7	
	8	

流域名	番号	沢名
	1	白草流
	2	
	3	青草流
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	大流
	9	
	10	小御岳流
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	吉田大沢
	16	
	17	ツバクロ沢
	18	不浄流
	19	
	20	
	21	
	22	

流域名	番号	沢名
	23	ナメ沢
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	木ノ根沢
	29	
	30	不滝流
	31	
	32	
	33	
	34	
	35	
	36	成就沢
	37	
	38	
	39	宝永沢
	40	
	41	
	42	
	43	
	44	
	45	大部河原

※沢名空白は名称の特定ができなかった沢